



**長 崎 県**  
中小企業家同友会

**DOYU**

ニュース  
**21**

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp  
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

**「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく！」  
～経営を極めていく企業家集団 会勢730名を達成しよう～**

**長崎県産業労働部との意見交換会 開催報告**

日時：8月4日(金) 18:30 会場：松藤プラザ「えきまえ」いきいきひろば



ここ数年、真夏の恒例行事となった私たち長崎県中小企業家同友会と長崎県産業労働部との意見交換会、今年も猛暑の中、長崎駅前会議室を会場として8月4日週末の夕方から、会場を移しての懇親会まで、県産業労働部から14名、同友会から30名の参加で盛大に開催されました。

今回は、長崎の中小企業の現在(いま)～同友会景況調査の結果から～と題して、双方を代表して、長崎県産業労働部長 平田修三氏と長崎県中小企業家同友会代表理事 松尾慶一さんの対談形式、コーディネーターを政策委員長 宮田正一が務め、テーマ(今回一緒に考えたいこと)を二つに絞り進めました。

一つ目のテーマは、景況調査の課題や取り組みでも常に一位である「人材」について、その中でも「人材確保」について集中して議論しました。注目すべきは、

平田産業労働部長の発言でした。私たち中小企業が、就職を前にした高校生や大学生にとって、「選ばれる会社になりえているか」、彼らに私たちの「会社の未来像を表現出来ているか」、との内容でした。

日々、生徒や学生、そして保護者に私たち中小企業の存在を知られていない、彼らは大企業の方ばかり向いていると嘆いていた面々にはとても耳の痛い発言です。課題は外だけではなく、内にあったと認識させられる一幕でした。

この内容でわかるように、私たち中小企業家と県産業労働部、特に政策を立案している産業政策課の皆さんとの距離は、確実に縮まってきていると実感しました。私たちの声を伝えたいと始めたこの意見交換会ですが、行政も中小企業の現実を見ているのだと、まさに共に発展していくための意見交換が出来る間柄に



**目次**

長崎県産業労働部との意見交換会 開催報告 .....	1	社会福祉法人 宮共生会(佐世保支部 原田会員)経営計画発表会 参加報告 .....	14
8月例会報告 .....	2	尾崎陶器(株)(佐世保支部 尾崎会員)経営計画発表会 参加報告 .....	15
中同協 第5回 経営労働問題全国交流会 in 京都 参加報告 .....	9	第9回 景況調査 結果報告 .....	16
第1回 中同協 経営労働委員会 参加報告 .....	10	会員活躍 .....	18
ダイヤモンドクラブ 総会・第1回例会 参加報告 .....	11	事務局企業訪問 .....	19
情報広報委員会 in 五島 開催報告 .....	12	入会・交代・復会会員紹介 .....	20
ダイバーシティ委員会 第8回例会 開催報告 .....	13	10月例会案内 .....	21
佐世保支部 共育・共同求人委員会主催「社員のための同友会を知る会」開催報告 .....	13	理事会議事録 抜粋 .....	21
		会員動向・会員数 .....	22



なっているのだと思います。

二つ目のテーマは、各社にとって最大の課題である「売上・付加価値アップ」（新規顧客の開拓、新規商品・サービスの開拓）です。ここでは、松尾代表理事が実例を基に力説した次の発言に注目が集まりました。

私たちに必要なのは、「何をしたいのかを明確にすること」である。それが明確でなければ、行政もその他応援者もどうしたらよいか手が打てない、今は国、県には応援してもらえるメニューがたくさんある、これを利用するためにも、「何をしたいのか」をはっきりと打ち出すことが肝要だ、との内容でした。まさにそのとおりだと思います。私たちの課題がまた一つ顕在化してきました。

その後は、同友会スタイルで展開し、各テーブルで



グループディスカッション、グループ発表、最後は同友会から、政策副委員長の敷島さん、そして産業労働部から大庭産業政策課長の総括の挨拶で終了しました。

会場を変えての懇親会もたいへん盛り上がり、この意見交換会、年1回では足りない、もう1回、年2回の開催が望ましいとの声も多数挙がり、政策委員会で検討していきたいと思います。

懇親会の締めでの金井副代表の発言にもありましたが、同友会理念の一つ「国民や地域と共に歩む中小企業」、まさにこれの一部を実現することが出来た意見交換会であったかと感じているところです。

(文責 政策委員長 宮田 正一)

## 長崎浦上支部 例会報告

日 時	8月18日(金) 18:30～21:00
会 場	長崎新聞文化ホール アストピア
テ ー マ	経営者の皆さん、あなたは自社の就業規則を知っていますか？～業界により異なる働き方の特徴と信頼される就業規則について～
報 告 者	大坪総合法律事務所 所長 大坪 孝聡 会員



始めにご自身の弁護士資格を取得するまでの経緯、前職の水族館勤務での内容を笑いも交えながらお話いただきました。



大坪さんは、弁護士登録を当時ご縁のあった法律事務所のある佐賀県で行ったそうです。そちらでの勤務を経て、弁護士登録から3年後には地元の長崎県にて法律事務所を設立、現在に至っています。

今回の大きなテーマである就業規則については、企業であればあって当たり前のものですが、実際にはその内容を細かく把握していない方が、私を含め多くおられたように思われます。以前に一度確認してからは見ていない、今は金庫に保管している、など普段は目に付かない状況になりがちではないでしょうか。

しかし、中には就業規則の冊子を事務所の分かり易い場所に置いて、社員はいつでも、誰でも見れるような環境を作られている企業ももちろんあります。



なぜ就業規則が必要なのか？仕事をしているのは人である以上、会社と人とを結びつけるものが重要です。そのためには、やはり社員に信頼される就業規則が必要となります。信頼を得ることにより、社員の離職を防止し、長く勤めてもらう事で企業の発展にも繋がると思います。

規則である以上、守る義務もあり、不測の事態に柔軟な対応を取りにくくなる場合もありますが、公平、かつ正確な労務管理が出来る事に大きなメリットがあります。凝り固まった規則とせず、年に1度位は内容をカスタマイズして、より良いものとしていく体制作りも大切だという事も学ばせていただきました。



例会後の懇親会はガレージ酒場で行いました。ここでも大坪さんを囲み、就業規則を含めいろんな質疑応答が行われ、賑やかで楽しい時間を過ごさせていただきました。

今回の例会で学ばせていただいた内容は、安定した会社経営を行うために、社内で今一度検証して反映させていかなければならないと感じました。今後は、よりいっそう人と会社のより良い関係、環境作りに取り組みたいと思います。

(文責 山崎 晃)

## 長崎出島支部 例会報告

日 時	8月23日(水) 18:00～20:30		
会 場	サンプリエール		
テ ー マ	10年後の夢を語ろう!!		
報 告 者	(株)岩崎商事 代表取締役	岩崎 誠一 会員	
	五島灘酒造(株) 専務取締役	田本 佳史 会員	
	(株)アクタス 代表取締役	大串 昭嘉 会員	
	(株)ニッシン 代表取締役	伊崎 孝幸 会員	



今までにない、新しい例会をという試みで「10年後の夢を語ろう!!」というテーマに基づき4人に10分ずつの報告をいただきました。10分という短い時間にもかかわらずとても簡潔にわかりやすく、自己紹介から経営を続ける中で起こった出来事、乗り越えてこられた苦労話やこれからの目標、10年後の夢



を語っていただき、すばらしい例会になりました。

1番目の報告者の岩崎さんは飲食店からホテル業まで幅広く経営されており、長崎に残る文化の一つである隠れキリシタンの文化遺産巡りを通じて長崎に観光客を呼び込んでいきたいと語られました。

2番目の田本さんは五島に昔は多く栽培されていた



「きんぼけ」という芋の栽培を自社で行い、芋焼酎なら五島！と言われるように知名度を上げていき五島を盛り上げていきたいと語られました。

3番目の大串さんは今からの車は安全性が高く地球



環境を考えた車が主になるという時代に寄り添う販売を目標に老後はゆっくり年金生活を楽しみたいと語られました。

トリを務められた4番目の伊崎さんは衛星の燃料タンクを作るという特殊な開発を手掛けており、10年後に月に打ち上げられる衛星を元気に孫達と見届けていきたいと語られました。

ディスカッションのテーマも「あなたの10年後の夢は何ですか？」という事でそれぞれの現状からこれからの夢や目標について考え討論していただきました。

例会では真剣に学び、懇親会では楽しく交流を深めていこう！という長崎出島支部の方針をもとに懇親会ではプロマジシャンの佐々田さんを筆頭に班全員でマジックショーを行い、大いに盛り上がりました。学びとしましては急速に進んでいく技術や、移り変わる時代に柔軟に対応しつつも残していきたい人と人とのつながりや想いを大切に、私達経営者は一丸となり学び伝えていけるように努力していく必要があると感じました。

(文責 山口 絵理)

## 大村支部 例会報告

日 時	8月17日(木) 18:30～21:00
会 場	おおむら夢ファーム シュシュ
内 容	納涼交流例会



会員間の親睦、そして会員の家族への感謝の気持ちを込め、大村支部運営部プロデュースによる「1年でもっとも楽しい例会」が今年もやってきました！

今晚みー??? ちょっとすべった感の迷? 司会、末次さんの挨拶を皮切りに支部長の益田さんの挨拶も今晚みー??? 大爆笑、大盛況の中、8月恒例の納涼交流例会が始まりました。



今回も第24回経営フォーラム2017 in 長崎、実行委員長 岩さんをはじめ実行委員によるキャラバン隊が駆け付け、フォーラムの説明が行われました。今回がキャラバンスタートと言うことで岩さん、若干緊張されていましたがその「覚悟！」充分想いが伝わりました。大村支部会員一同、長崎同友会最大のイベント「経営フォーラム」参加いたします！

交流会では、恒例の野菜詰め放題ゲームなどが催され、会員の奥様方の熾烈な争い！が繰り広げられました。

委員会ごとに白熱した戦いが繰り広げられた豆つかみゲーム！決勝では子供Bチーム、アドバイザーチームによる熱い戦い！アドバイザーの金●さん、子供達に言葉で威嚇するもあえなく撃沈！口は達者でも歳に



は勝てず？会員一同、大変盛り上がりました。

会員とその家族全員が参加した今回の納涼交流例会、お酒を飲みながら終始笑顔の絶えない楽しい時間はあっという間に過ぎました。最後に、レストランのテラスに出て恒例の打ち上げ花火、綺麗な花火の余韻に浸った後、アドバイザーの大塚さんによる締め挨拶



で今回の納涼例会は大盛況の中、終わりました。

普段の形式とは違う家族参加型の8月例会、家族への感謝を込めて、そしてこれからの同友会活動を円滑に行うため、来年の納涼例会に繋げたいと思います。

(文責 浦郷 学)

## 諫早支部 例会報告

日 時	8月23日(水) 18:30～21:00
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	しくじり人生現在進行形 ～このままでは終われない…～
報 告 者	(有)本多工務店 代表取締役 本多 勝雄 会員



本多さんは、自分の体験を人気番組「しくじり先生」のような感じで語りました。しくじりが始まったのは、高校に入学してからだそうです。大学に入学、就職は受ければ内定の時代で内定を断るのが大変なくらいの中、大手ゼネコンに入社。芸能人の自宅などを多く手がける会社で高級物件専門の現場監督として活躍。現場では億のマンションは当たり前、シャンデリアはバカラを使うほどの仕様！！優秀な現場で会社からの評価が良く3年間同期の中でトップの評価、昔からの夢の一級建築士試験にも一発合格！波に乗り5年先輩よりもいい給与をもらうほど。

しかししくじりは始まっていました。大きな現場を任せられ、いざやってみるとやることなすことダメで、



眠らずに一週間現場をやったり、部下の教育も出来ずボロが出て凄く悩みます。現場は数千万の赤字、優秀なはずが…、実は優秀だったのは一緒にやってきた先輩だった！敗北感で本多さんは地元に戻りもっと真面目に建築をと、超優良超どんぶり勘定なりアル星一徹みたいな父の会社に勤め、ホテル・旅館の工事を主に手掛けます。しかし数千円の仕事を受けることもあり、都会とのギャップを感じることもありました。

2008年、父より代表を交代し住宅産業に参入。高断熱の住宅の提供を行います。長崎県木造住宅コンクールを受賞し、徐々に住宅の受注が増え業績は上向きに。しかし時代は新築からリフォームに。悩み続ける工務店経営、そんな時に友人より同友会に入ったらと薦められます。

職人不足の今、人材育成、利益を出す仕組み作りが今後の課題です。会社としての目標は地球環境温暖化省エネに配慮した住宅づくり。存在価値のある会社・社員が誇れる会社・お客様より喜ばれる会社・人をしあわせにする会社を目指すことと締めくくられました。

(文責 寺尾 昌晃)

## 島原支部 例会報告

日 時	8月24日(木) 19:00～21:00
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	自社の成長と増益経営を目指す経営計画書 ～(株)荒木工務店の挑戦～
報 告 者	(株)荒木工務店 代表取締役 荒木 博 会員



今年度は経営指針実践セミナー（1年コース）が開講、島原支部においては参加希望者多数で、県経営労働委員長でセミナーの講師を務める宇土さんのご厚意もあり島原支部単独でのセミナーを開始しました。今回の例会は、すでに経営指針を作成している荒木さんに経営計画書の発表会という形式で報告を行っていただきました。

経営理念をもとに、10年ビジョンを掲げ、自社の分析から外部環境の分析、クロッシングしてからの経営方針の作成と内容の充実した経営計画書となっており、参加した会員も今後の経営指針の作成に向け大変参考になる事例を学ぶことができました。



自社の強み、弱みを知ることで今やるべき事が細分化できる。その上で改善方法や戦略ができ、それを達成する為の行動計画ができる。目標達成に向けてムダを減らし、会社が目指す方向性を示すことができる。それが経営指針であり、羅針盤といわれるものだと再認識出来ました。

質疑応答では、この経営計画書を今後いかに社員と共有し、実践していくのか等があがり、実践して初めてこの計画書が生きてくるものだと荒木さんはおっしゃいました。荒木さんの会社では、週例、月例のミーティングに加え、社員の個人面談や改善箱の設置等を取り組み、経営計画書を共有することと、また社員とも意見を交わしながら毎年経営計画書を作成していくとの事でした。

今、島原支部会員が経営指針の重要性を再認識し、セミナーに臨んでいるところではありますが、今回、実際に他社の経営指針を想いも含めて聞くことができ、大変刺激を受け有意義な例会となりました。

(文責 北浦 雄一)

## 佐世保支部・北松浦支部 合同例会報告

日 時	8月25日(金) 18:00～21:40
会 場	九十九島ベイサイドホテル&リゾート フラッグス
テ ー マ	一病息災 ～困難に立ち向かえば、人は大きく変わる!!～
報 告 者	(株)長崎地研 代表取締役社長 村山 隆之 会員

建設コンサルタント、地質調査、ボーリング業を経営されている村山さんからの報告でした。村山さんは中学3年生まで伊王島で過ごされ高校卒業後、炭鉱閉山を期に村山さんのお父様が起業された会社へ就職しました。

個人経営時代はお父様との考え方の違いや、普段の仕事は楽しいが、社員からの不平不満を聞かなくてはならない環境であった為、精神的にきつく、やりづら



い中でのスタートだったといえます。

そんななか、結婚後、36歳で2度の心臓手術を乗り越えられ、1995年に同友会と出会いました。

同友会での学びで、これまでの家内工業的な会社か

ら組織のある会社へと「組織づくり」を押し進められてきました。

経営計画発表会との出会い、異業種の経営者の方々との出会いが、「会社」、そして「経営者としての自分」を大きく変えることができた。と報告されました。

経営計画書の作成に関して、理念も大切であるが、会社をうまくまわす為の組織づくりを考えなければならぬこと、社員の教育や、評価も計画書に盛り込み、どのようにすれば、どうなる。といったところまで落とし込まなければならない。社員が実践しやすいように、マニュアル化を図ることが重要なのだと勉強させていただきました。

そして、村山さんが一番伝えなかったことは、悲しいことは「知らないこと」であるということです。知っていれば遠回りの道も近道になり、有効な時間を作ることができ、好循環を生み出すことができる。その好循環を生み出すには、異業種の方と出会い、勉強することが重要であり、その為に関友会が存在しているのだと改めて考えさせていただきました。

このような考え、組織の作り方に行き着かれたの



も、同友会、その他の組織で経験を積まれた村山さんのリーダーとしての働きがあったからこそなんだと感じました。いい会社、いい経営者、いい経営環境をつくるために、行動し続けられた会員の凄さが滲みでた合同例会にふさわしい報告であったと思いました。これまでの経験を惜しみなく報告いただき、村山さんに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(文責 佐世保支部 綿川 洋)



村山さんは、36歳で心臓の病気というピンチに。時を同じくして会社の方も仕事がないというダブルピンチの大変な状況乗り越えられ、その中で同友会での学びがご自身にとって大きな原動力となり、佐世保支部では唯一早くから経営計画発表会を1996年10月より毎年継続され、現在も様々な活動に精力的に参加されているとのこと。

同友会に入会后、例会委員長、総務委員長を歴任。総務委員長時代には「会員紹介シート」を導入。

その後、経営計画書の作成、経営計画発表会の実施など、現在の同友会の先駆けとして実績を残されてきました。とくに経営計画書については、村山さんが体調を崩し入院したことをきっかけに、自分自身がいなくても会社が動く組織づくりのために必要であると、ご自身の経験をもとに経営計画書の必要性を強調されていました。

会社をよい方向に向かわせるには、同友会でよい仲

間に出会い、同友会で学んだことを会社にフィードバックすることが非常に大事である。

報告の最後に、仕事をし、生きていくことで一番悲しいことは知らないことである。知らないことを知るには、同友会で仲間を作り、仲間に相談することが大事であると語りました。

#### 感想

同友会活動に関すること、経営に関すること、そして人生に関すること、など非常に密度の濃い報告でした。同友会でしっかり学んでその学んだことを会社に持ち帰り会社をよくしていきたいと思いました。

(文責 北松浦支部 吉田 大)



## 五島支部 例会報告

日 時	8月19日(土) 19:00～21:00
会 場	遣唐使ふるさと館
内 容	納涼懇親例会



今回は納涼懇親例会ということで、会員の家族やスタッフもお呼びして、BBQを行いました。支部長の辻さんをはじめ例会委員長の谷川さんやその他の会員で準備をし、美味しく楽しく懇親を深められたのではないかと思います。

例会の中で自己紹介&家族・スタッフ紹介をあらためて行いお互いの仕事や家庭のことをより理解できた例会になりました。また経営フォーラム実行委員長の岩さんや副実行委員長の金田さんにもキャラバン隊として参加していただき、経営フォーラムへの動員にも勢いがついたのではないかと思います。

日中に行われた県情報広報委員会 in 五島で来島さ



れていた委員長の山口さんや委員の皆さんにも参加いただき、賑やかに8月五島支部例会を盛り上げていただきました。来年も納涼懇親例会が行われるようでしたら、他の県委員会もin五島を企画してみたいでしょうか？

(文責 勝本 政裕)

## 青年経営者会 例会報告

日 時	8月27日(日) 15:00～20:30
会 場	長崎ラッキーボウル & かりーによ
内 容	サマーイベント



恒例の「サマーイベント」ボウリング大会を開催しました。



会員のご家族と交流が図れるようチーム編成では家族同士で固めず、色々な方との組み合わせを行いました。最初は多少緊張していた様子でしたが、プレイがスタートするとスベアやストライクなどが出るたびに大きな歓声があがり、ともに喜び、ハイタッチをしたりして、すぐに緊張感はなくなりました。

子供たちの専用レーンではガーターレーンをなくし

たことで、小さなお子様もたくさんのピンを倒すことができ、大はしゃぎでした。

懇親会は塩見さんのお店（かりーによ）で開催いたしました。安井さん（ZAC）のピザ、伊藤さん（五平太）のオードブルが色鮮やかに準備されておりました。体をたくさん動かしておなかが空いた子供たちはおいしそうにたくさんの料理を食べていました。

ボウリングの結果発表の前に日頃より御世話になっている会員の奥様へ日頃の感謝を込めて、贈り物をお渡ししました。

その後、ボウリング大会の結果発表を行いました。今年は私（小川）の息子が221というハイスコアを出し、会場を盛り上げました。

食事を済ませ、夏の恒例「花火大会」を近くの公園で開催しました。8月下旬、外も涼しく、気持ちいい夜風を浴びながら色鮮やかな花火に最後の最後まで子供たちも大喜びでした。夏休み最後の週末にとっても良



い思い出ができたのではないかと大成功のサマーイベントとなりました。

最後になりましたがご協力いただいた多くの皆様に心から御礼申し上げます。

（文責 小川 久郎）

## 中同協 第5回 経営労働問題全国交流会 in 京都 参加報告

開催日時：8月31日（木）13：00～9月1日（金）正午 会場：京都ホテルオークラ



経営労働委員長 宇土 敏郎

中同協の広浜会長・中山幹事長という新体制での交流会でした。

最初に中山幹事長より、「人を生かす経営」の推進を～経営指針成文化・実践運動を広めるために～という問題提起が行われました。

全国の動向から①経営指針の実践での経営方針が具体的でない ②経営指針実践としての企業変革支援プログラムが利用されていない、これは労使見解を根底に置いた経営指針の成文化と実践が必要であるという経営者の自覚が低いからでは。よって社員と共に作っていないし、実践のツールである企業変革支援プログラムの実施が進まないとの提起がありました。それを



受け、4つの分散会で280名の活発な議論が行われました。

2日目は京都同友会相談役で労使見解の生き字引のお一人の上野修さんの特別報告がありました。主旨は経営者として成功するプロセスは①労使見解から信頼関係を築く ②社員と向かい合う ③経営者としての責任をとるという内容でした。京都同友会でも、めったに聞く事ができない貴重で価値のある報告ですと会員がお話をされていました。

最後に林新経営労働委員長から、人を生かす就業規則と経営指針～「就業規則のガイドライン」作成プロジェクトからの提起～という問題提起がありました。経営指針の実践につながらない要因の一つに労働環境の改善が経営指針に位置付けされていないのでは？と

の内容でした。

今回の学びは長崎同友会の経営労働委員会で深め、全会員に広めています。

最後に、同友会での学びを深くするには全国の大会・

交流会に参加することも有効ですよという話を聞かれると思います。今回は特に「労使見解」が大きく意味づけされました。大きな学びがありました。年に1回でも参加されることをお勧めします。

### 事務局次長 峰 圭太

隔年開催の本大会は冒頭広浜会長の挨拶から中山幹事長の問題提起、その後分科会形式ではなく分散会形式という形で会全体の問題提起に基づき運動の全体像を踏まえながらそれぞれのテーマで報告、グループ討論が進められました。

中山幹事長の問題提起は①理念とビジョンに沿った方針、計画がアバウトになっていないか ②経営指針を社員と共につくっていないのではないか ③企業変革支援プログラムの活用が少ないのではないかという3点にまとめられると同時に根底にあるべき労使見解の理解をさらに深めなければならないということでした。私はその後『人を生かす経営の実践』の取り組みと課題」というテーマで徳島同友会の吉武さんの分散会に参加させていただきました。社員と共に「人を生かす経営塾」に参加され10年ビジョンを作成し社員と共有、さらには企業変革支援プログラムの活用で自社の課題を分析しとりわけ第3章の「人を生かす経営の実践」、さらには③の項目である労働環境の整備に取り組まれている実践事例の報告でした。

2日目は京都同友会の上野さんから労使見解に関する特別報告、林経営労働委員長から「人を生かす就業規則と経営実践」というテーマで問題提起がなされ、グループ討論を行いました。

グループ討論や全体的な発表から、情勢が混沌とし

ている中、やはり同友会の会員企業が労使見解を深く学び、経営指針に落とし込むこと、さらには労使見解の精神を生かした就業規則を作成し、社員の労働環境を整備することで人間尊重経営を実践することが重要だと確認されたと感じます。今働いている社員それぞれが10年後同じ会社で働くことができるビジョンを持つことができるか、それは経営者が社員を真のパートナーと認識し労働環境の整備を行うこと。就業規則は最低限の法律遵守ではなく、最低限法律を遵守したうえで各企業の労働環境にオリジナル性を見出し社員の満足度を高める必要があると学ばせていただきました。

これは事務局にも当てはまることでもあります。会員企業が労使見解の精神を反映し、これから先現在の社員の方が夢を持って継続勤務ができることと同じように、事務局員が将来の人生設計ができるだけの労働環境を整備する時期に差し掛かっているのではないかと思います。

そのためにもさらに労使見解を深く学び、事務局としてやりがいを持って仕事に取り組むための労働環境整備、「会員企業・地域の発展のために行動する」という事務局理念の実践の具体化のために、会員の皆さんと意見交換しながら今後の運動を支えるパートナーとしてさらに成長することが必要だと認識させていただいた交流会となりました。

## 第1回 中同協 経営労働委員会 参加報告

開催日時：9月1日(金) 13:15～17:00 会場：京都ホテルオークラ

第5回経営労働問題全国交流会に引き続き開催されましたので参加しました。全国から30同友会70名の参加がありました。

まずは全国交流会についての振り返りがあり、各地の経営労働委員会として経営指針の成文化と実践の活動に、中山幹事長から問題提起があり、①経営指針の活動方針の具体性に欠ける ②企業変革支援プログラムの実践が進んでいない ③労使見解の学びが深まっていないことについて、全員で振り返りました。

次に『働く環境の指針づくりの手引き』（仮称・第1次案）が発表されました。これは就業規則作成・見直しや労働環境改善の取組みについてのガイドライン

を作成することを目的に、3年前からスタートしたプロジェクトです。昨年12月に発刊された「経営指針成文化と実践の手引き」の副読本的な存在の位置付けになります。「働く環境の指針」とは、社員の「働く環境」について現状や課題を把握して、より良く改善していくための総合的な指針です。「働く環境」について、①「経営者の覚悟」「10年後の労働環境ビジョン」「現状確認」「未来年表」「生産性向上計画」「就業規則改定計画」「組織的取組み」などで構成されています。

各地同友会からは、経営指針との関わりへの不安、運動の進め方、社労士との関わり等について意見が出

て、議論しました。特に経営者でも労使見解を理解していないのに、社労士は理解してくれるのかとの意見が出ました。しかし社労士が経営労働委員長という同友会では、労使見解を理解しているから出来るとの報告もありました。この「働く環境の指針」は、経営活動に大きな存在になると確信しました。長崎同友会としては、今期中に具体的な活動方針を委員会で検討していきます。その間に正式に手引きが発刊されると思います。興味があり、勉強したいという会員にはe.doyuの掲示板またはファイルライブラリの経営労働委員会にupしますので参考にして下さい。

次に参加している各地同友会の活動報告がありました。各地とも「経営指針成文化と実践の手引き」を活用した成文化活動が進んでいますが、実践及び継続には課題がありました。長崎は新体制で32名の参加があったと報告をさせていただきました。

最後に企業変革支援プログラムの普及についての議

論がありました。実践している企業の共通項は、社員と共に行っている、ステップ2まで行わないと効果が出ないとの報告でした。11～12月は強化月間を実施します。長崎もステップ1のテキスト購入者は360社なのに本登録は6社です。今実施しています「経営指針実践セミナー」では必ず理解していただき、実施していただき、その良さを体験していただく予定です。進行は遅いですが少しずつ実施していきます。

最後に、中同協経営労働委員会は昨年末の「経営指針成文化と実践の手引き」に続き「働く環境の指針づくりの手引き」と経営指針成文化の素晴らしい手引きができました。これを受け、長崎同友会で会員への普及を進める段階です。今期中に活動を委員会で検討します。社労士さんとの協議を進めてまいります。活動に期待して下さい。また参加して下さい。

(文責 経営労働委員長 宇土 敏郎)

## ダイヤモンドクラブ 総会・第1回例会 参加報告

開催日時：8月5日(土) 18:00 会場：長崎シティーホテル アネックス3



1994年、ボランティア仲間から、諫早に同友会の支部ができるからと誘われ入会、往復2時間の距離を15年間、例会、役員会と通い続け、2009年、島原支部を立ち上げて今日まで同友会活動を続けてきました。本当に歳月の立つのが、早く感じられます。

今回初めてダイヤモンドクラブの総会に参加させていただきました。参加者は若干少なめでありましたが、品川さんの“迷”司会で終始和やかに進行され、会長の金子さんから前年度の活動報告、本年度の活動方針、計画が発表されました。その中でダイヤモンドクラブのバッジを作ろうという提案がありました。副会長の松尾照美さんが担当され、グリーン地に三つのダイヤと同友会のマークと長崎のNの文字が描かれていました。

参加者全員の同意が得られましたが、会長の金子さ

んの思いをお伝えしておきます。「中小企業の経営者は本当に大変だ。しかし、そういう中で同友会の運動を推進し活動を20年も続けているのはすばらしい。同友会の全ての会員が、このバッジをつけることを目標にさらに頑張してほしい」と。私も益々、精進していきたいと思いますので先輩方のご指導をよろしくお願いいたします。

(文責 島原支部 三田 茂樹)



「え！ダイヤモンドクラブ??」といった何の案内だろうと内容を読んでみると、なんと入会20年という事でダイヤモンドクラブへの参加の案内でした。

そういえば、同友会にお世話になったのは30代の後半だったのを思い出し、その割に成長してない自分を少し情けなく思ったりしましたが「これは参加しないと！」と思いつち、今回初出席をさせていただきました。

ダイヤモンドクラブには以前委員会等でお会いしたり、お世話になった皆さんが名簿にズラリ勢揃いです。思い返すと同友会の皆さんにどれほど援けられ励まされて来たか、あらためて確認するに至りました。例会に行くたびに「もう少し頑張るか…」と思いつながら20年が経ってしまったのだなど…。

今回あらためて同友会に所属していることを認識さ



せていただいております。ダイヤモンドクラブへのお誘いありがとうございます。

(文責 長崎浦上支部 多田 長三郎)

## 情報広報委員会 in 五島 開催報告

開催日時：8月19日(土) 13:00 会場：(同)メディアウェブ



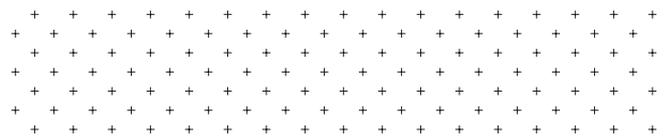
8月は下五島にて委員会を開催しました。いつもはweb会議システムを使っての参加となる五島支部の委員の方も今回は実際に対面しながら会議をすることが出来ました。加えて辻五島支部長にもご参加いただき支部の活動内容などもお聞きする事が出来ました。こうして出来るだけ毎月各支部にお邪魔して委員会を開

催する事により支部委員長さんだけでなく支部委員の方や支部ごとの委員会の活動内容などを知ることが出来るので、県の委員会運営にも生かしていきたいと思えます。

委員会としては今後も県ホームページの内容充実や例会行事開催時の写真・映像・SNS投稿等の使用について許可承諾ルールの検討、e.doyuの機能充実や利用率の向上など会員の皆さんにより良い情報をお伝えできるよう今後も活動していきたいと思えます。

委員会終了後は五島支部の例会にも参加させていただきました充実した委員会活動となりました。

(文責 情報広報委員長 山口 善也)



V・ファーレン長崎



応援マット

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎出島支部)

# 広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
割引	3ヶ月	6,000 → 5,000

# ダイバーシティ委員会 第8回例会 開催報告

開催日時：8月29日(火) 18:30 会場：サンプリエール

テーマ：「ひろがる無限の可能性」～未来を支える特別支援学校 生徒の夢・希望・実践～

報告者：長崎県教育庁 特別支援教育室 指導主事 前田 憲吾 氏、長崎県立希望が丘高等特別支援学校 進路指導主事 中尾 敏光 氏、長崎県立虹の原特別支援学校 進路指導主事 山下 祐司 氏、長崎大学教育学部 附属特別支援学校 進路指導主事 浦川 心 氏、長崎県立鶴南特別支援学校 進路指導主事 中里 文彦 氏、(株)ミヤタ 代表取締役 宮田 正一 会員(大村支部)、(株)西九州研材産業 代表取締役 馬場 一信 会員(諫早支部)、(有)カワカミ 代表取締役 川上 利夫 会員(佐世保支部)



今回の例会は前委員長である中村こずえさんの強い思いがあり実現しました。長崎県教育庁と特別支援学校とが連携を取り、生徒さんの夢・希望・実践や、特別支援学校の進路状況や就労支援に関わる事業について報告いただきました。

特別支援学校ではたくさんの方の実践的教育をされており、清掃実習・調理補助実習・木工・農芸・食品加工・事務・流通・縫製・塗装など多くの業種で就労できるように実習を行っています。実際に就労している卒業生が、スーパーの裏方で活躍、またホテルの清掃を1日に10室以上手早く行うなど、なくてはならない存在となっていることを知りました。

障がい者の実習を受け入れた会員や雇用をした会員からは、興味があることには素晴らしい能力を発揮す



る。個性を伸ばし褒めることが大事。健常者と変わらない活躍する方もいる。発作のある方は発作の対処法を事前に知ることにより、発作が起きた時には社員みんなで対応することが出来た等の報告がありました。

今回の報告から、生徒さんには出来ることがたくさんあることを知りました。実習を受け入れることで、生徒さんの実力を知ることが出来ます。まずは知ることが大切です。学校の見学会やバザーなど行っているので、一歩踏み出す勇気を持って積極的に参加されてはいかがでしょうか。そこには人手不足を解決する立役者となりうる生徒さんがたくさんたくさんいらっしゃいます。

(文責 諫早支部 寺尾 昌晃)

## 佐世保支部 共育・共同求人委員会主催 「社員のための同友会を知る会」開催報告

開催日：8月25日(金) 16:20 会場：九十九島ベイサイドホテルFLAGS

同友会での学びを会員が自社で実践する上で、社員の理解と協力は必要不可欠ですが、多くの社員は、経営者が同友会で何をしているのか知らないのが実情です。他の経営者団体の活動と混同している社員、「社長は同友会、同友会って、一体何ばしよらすっちゃろ。同友会活動よりも、もっと会社の仕事をして欲しか」と不信感を抱いている社員もいるかもしれません。そこで、佐世保支部共育・共同求人委員会では、そのソリューションとして、その名の通り、「社員のための

同友会を知る会」を開催しました。

今回は、例会委員会の協力の元、「8月納涼例会・同友会を知る会」とのジョイント企画として、同日・同会場で開催。「社員のための同友会を知る会」に参加した社員は、そのまま「8月納涼例会・同友会を知る会」と懇親会にも参加し、同友会を体感できる1日になるようプログラムを組みました。参加した社員は、10社27名。うち25名が8月納涼例会、及び懇親会まで参加しました。会員は19名参加しま

した。

「社員のための同友会を知る会」は2部構成60分とし、第1部（20分）では委員長の橋口が「社長はなぜ同友会で学ぶのか」をテーマに、同友会の三つの目的を中心とした同友会概論を講義しました。同友会活動に親しみがなかった社員も、会員の同友会活動に理解と共感が得られた時間となりました。今後、会員が「同友会に行ってくるね」と自社を出る際も、笑顔で送り出してくれる社員が増えたであろうと実感しています。

第2部（30分）では、(株)長崎地研さんより、新進気鋭の20代若手社員3名にご登壇いただき、「社員からみた同友会活動」をテーマに、同友会活動実践体験報告をしていただきました。社内において同友会活動への理解が浸透し、学びの実践に会社一丸となっ

て取り組んでいらっしゃる会員企業社員による報告は、参加者に大いに刺激になったようで、同友会活動を社内で実践するメリットを共有できた場となりました。

また、納涼例会の経営体験報告が、長崎地研・村山隆之さんであったことから、その前の同企業若手社員3名の報告とうまくリンクし、1日を通して非常に厚みのある内容となりました。

初めて開催した「社員のための同友会を知る会」でしたが、満足のいく0→1イベントでした。佐世保支部では、今回のイベントを基盤に、会員・社員を対象とした共育プログラムを実施するとともに、定期的な「社員のための同友会を知る会」を開催し、各会員企業の人づくり、組織づくりを支援していきます。

(文責 橋口 久)

## 社会福祉法人 宮共生会(佐世保支部 原田会員)経営計画発表会 参加報告

開催日：7月29日(土) 会場：ホテルオークラJRハウステンボス

### 【参加者の声】

#### 1. (有)エムズ 川下 眞文

頑張りが宮共生会の強さだと感じ、その意識を高める理事長の手腕のすごさに感服しました。

#### 2. (株)長崎地研 村山 隆之

今回の経営計画書は本当に良く出来ていました。特に今までと違いシンプルに出来上がっていて、わかり易くなっていました。

#### 3. (株)広告のアクセス 山領 進

メンバー様(利用者様)、サポーター(スタッフ)などの社内用語がきちんと浸透していました。トップの意志が隅々まで伝わっている顕著な事例だと思います。

#### 4. 昌明機工(株) 中島 禎雄

個人目標発表を皆さんが楽しそうに発表されていた事が印象的でした。

#### 5. 尾崎陶器(株) 尾崎 彰宣

皆さん持ち時間をきっちり守られていた。おそらく、事前に練習をかなりされたのだなと感心した。

#### 6. プライアント(株) 橋口 久

発表会に出席された社員さん42名の個人目標発表がある宮共生会の発表会は、同友会佐世保支部会員の発表会の中でも最大規模であり、いい発表会を見せてもらいました。

#### 7. 佐世保フロンティア法律事務所 馬渡 圭一

個々のスタッフの皆さんが自身の発表を通じて年々成長する努力を続けておられることが素晴らしいと感じました。

#### 8. (有)山崎マーク 山崎 秀平

皆さん正直に、時にユーモアを交えて話す姿勢は、宮共生会の社風なのでしょうね。原田理事長の言ったように「チーム、一丸となって、更に素敵な社会福祉法人になって下さい。

#### 9. (株)きゅーぶ 岡本 武志

各事業所が考える前向きなビジョンを聞く事が出来た。後は実行のみ。

#### 10. (有)片桐計量器店 片桐 孝章

3年目の今回、本人も含め社員の皆様の意識が高くなっており質の高さを感じた。

#### 11. 村上彫刻 村上 敦子

しっかりとした事業計画、目標発表…「これぞ経営計画発表会!!」でした。

#### 12. (株)野田武一商店 野田 洋市

固定観念にとらわれず柔軟な発想の中、仕事を愉しまれているスタッフの皆様の表情が印象的でした。

### 13. 東島税理士事務所 東島 誉志

行政を含めた社会の動きを先読みした中期経営計画を発表され非常に良かったとおもいます。

### 14. なかの人事労務事務所 中野 さとみ

年々発表会の内容が充実されているように思い、継続することの重要性を感じました。

### 15. (有)前川建材店 前川 優也

充実した内容に圧倒されながらも、来賓も参加（採点）できるように工夫され楽しむことができました。個人目標は表現に富み、笑いもおこって宮共生会様の雰囲気が感じ取られ非常に良かったです。

(文責 経営労働委員長 前川 優也)

## 尾崎陶器(株)(佐世保支部 尾崎会員)経営計画発表会 参加報告

開催日：8月5日(土) 会場：ザ パラダイスガーデン・サセボ

### 【参加者の声】

#### 1. 白山陶器(株) 松尾 慶一

今日が終わり、社員の皆さんと反省会をされて、皆さんの本音をしっかり聞いて下さい。

#### 2. (有)エムズ 川下 眞文

きれいな計画書でした。永年勤続表彰の際の社長のコメントに感激しました。

#### 3. (株)広告のアクセス 山領 進

財務状況を赤裸々に話されすごいと思いました。社員さんにレクチャーする意味で実施されたことと思います。健全であることは理解できました。

#### 4. 昌明機工(株) 中島 禎雄

決算書の公開と、税理士さんによる詳しい説明があり、社員さんも状況が良くわかれたと思います。

#### 5. 社会福祉法人 宮共生会 原田 良太

とても1回目とは思えない発表会の内容完成度でした。中期のビジョンも分かりやすく、社員の皆様にもしっかり浸透しているのではないかと感じました。

#### 6. (株)智翔館 直江 弘明

海外へのチャレンジわくわくします。東南アジア、西アジアはいかがですか？来年の報告が楽しみです。

#### 7. (株)福祉工房K's 豊福 和明

社長挨拶：初の経営計画発表会ということで、社員の皆様にとっても解りやすいお話でした。

#### 8. プライアント(株) 橋口 久

第一回目初めての計画書とは思えない厚みのある内容だった。これは140年の歴史、永年勤続30年以上が4名もいらっしゃるなど、会社の厚み=計画書の厚みなのかと感じました。

#### 9. STSOL 府川開発 府川 正樹

発表会の感想ですが、永年勤続表彰にて、表彰される方々に対し、尾崎さんが一人一人に今まで働いてもらっている感謝をお話していたのがとてもすばらしいと思います。表彰された方はうれしいと思います。

#### 10. (株)PMC 佐藤 安司

歴史ある有田焼でも現状は厳しい中で、社長の今後の世界進出による社員さんたちの幸福実現達成の為の意欲が伝わってきた。

#### 11. 村上彫刻 村上 敦子

第一回経営計画発表会開催おめでとうございます。第一回と思えないほど完成度の高い発表会でした。中でも、数値分析と計画がしっかりと報告されていたのが素晴らしいと思いました。

#### 12. スタイリッシュワーズ(有) 綿川 洋

「もの」売りから「こと」売りへ。理念が良く、コンセプトがあって素晴らしいと思いました。

#### 13. 整体院みずたま 平山 祐二

世界を相手に日本の陶器を売り出していくために挑戦しておられる。尾崎陶器の皆様のビジョンや姿勢にふれることができてよかったです。

#### 14. (有)前川建材店 前川 優也

私が一番感動したのは永年勤続表彰の時の尾崎さんから表彰を受けられた社員さんに対する言葉かけでした。普段の働く姿をよく見ておかないとあの言葉はでてこないと思います。言われた社員さんはすごく嬉しくなると思いますし、もっと頑張ろうと思うに違いありません。

(文責 経営労働委員長 前川 優也)

# 第9回 景況調査 結果報告

長崎同友会では四半期に一度、独自の景況調査を行っています。今回611名を対象に第9回目を実施し、139名から回答をいただきました（回答率22.8%）。下記4月～6月期の簡易分析結果をご報告します。

業種、本社所在地に関しては前回同様の結果が出ています。年商に関して第8回目の調査結果では3億円未満までの企業が80.2%を占めました。今回の調査では77.7%となっています。また5億円以上の割合が前回の11.2%から15.1%と増えています。

景況観に売上、経常利益については今回だけの結果をみるとまだプラスの割合が多いものの、全体的に前回よりも悪化傾向が伺えます。直前3ヵ月期（2017年1月～3月）との比較では売上高DI値14.6→5.8と▲8.8、経常利益DI値では8→2.2と▲5.8のマイナスとなっています。昨年同時期と比較でも、売上高DI値16.9→14.4で▲2.5、経常利益DI値10.3→9.3となり▲1となり、悪化傾向になっています。同様に次期見通しに関しても売上高DI値20.2→15.1、経常利益DI値12.6→11.5と微減傾向となっています。このような状況からか、資金繰りに関しても「やや窮屈」の割合が前回よりも5%ほど多くなっています。

逆に業況判断に関しては直前3ヵ月、昨年同時期、

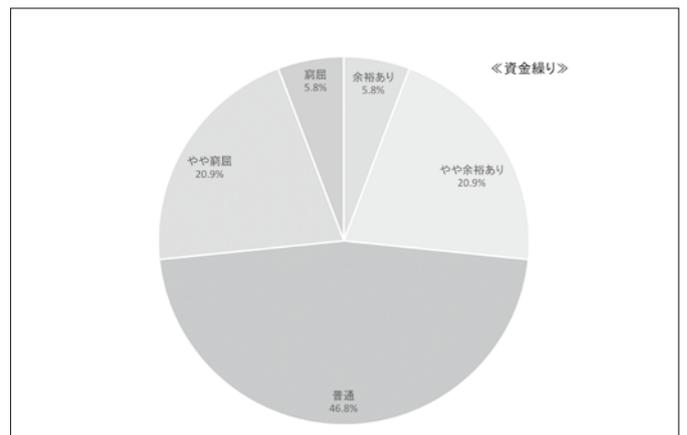
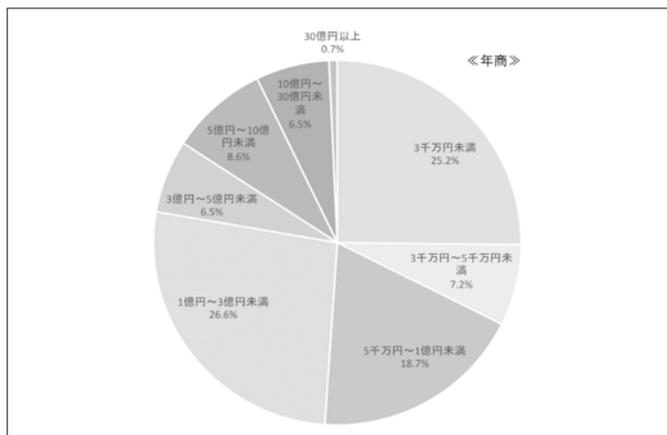
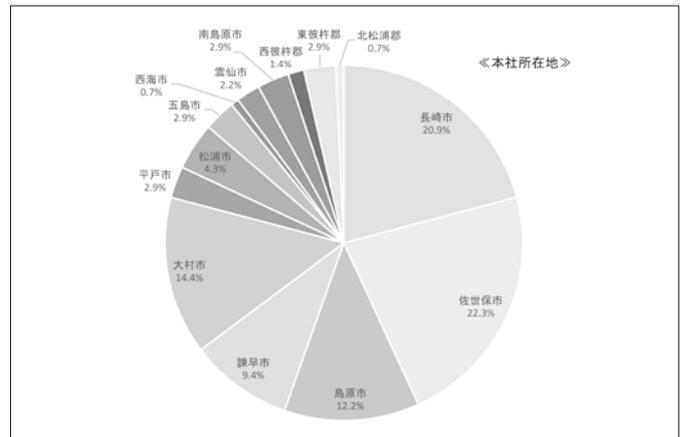
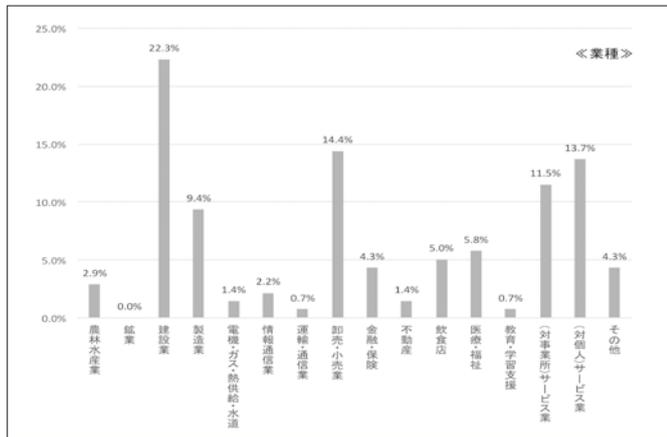
次期見通しすべてにおいて好転の値が出ています。各業界で背景の情勢が異なると思いますが売上の減少がそのまま経常利益の減少につながり資金繰りまで影響を及ぼす結果となった4月～6月期と伺えます。その分業況判断が好転傾向にあることは今後の企業活動においては期待できることと思います。

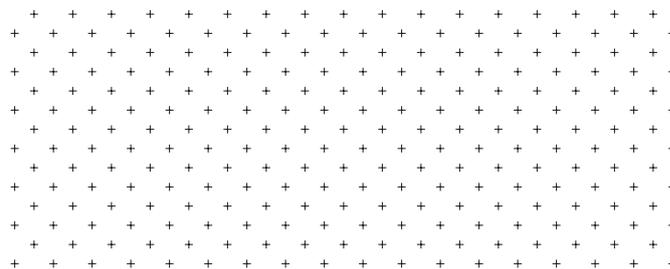
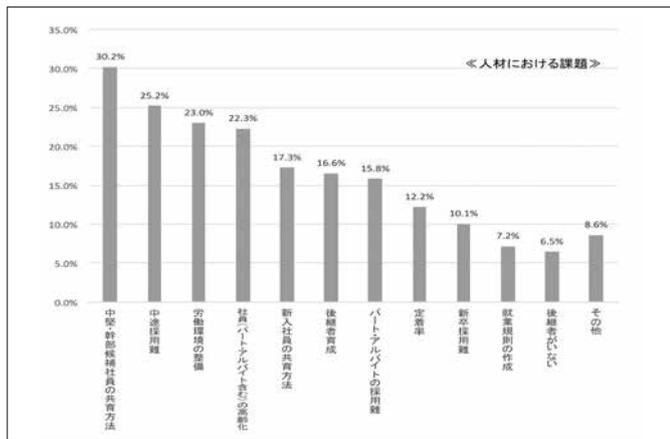
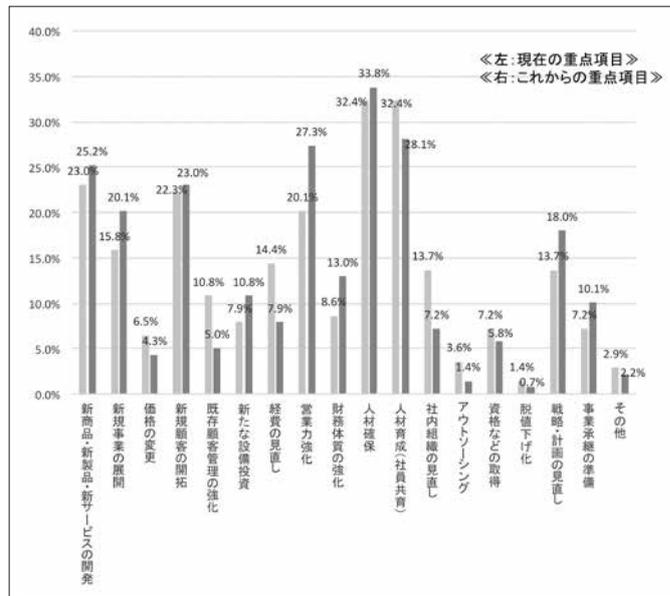
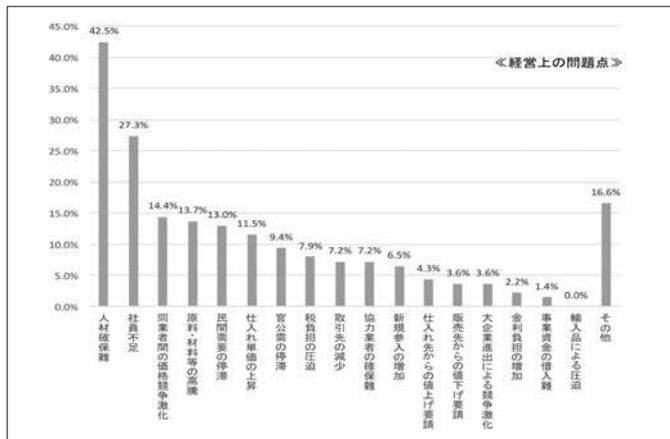
経営上の問題点は依然として「人材確保難」「社員不足」が上位を占め、重点項目に関しても引き続き「人材確保」「人材育成」となり「人」が継続的な課題として根強く残っています。

人材における課題は前回同様「中堅・幹部社員候補の共育方法」が3割を超え、次いで「中途採用難」と続きます。また前回よりも「労働環境の整備」の割合が増えており、「人材不足、獲得難の中、同時進行で中途採用を考えるものの、労働環境の整備、既存社員の共育方法に課題を抱えている」と推察します。

社員数（正規およびパート、アルバイト）が20名未満の割合が7割を超える同友会会員企業という現状、再度労使見解に立ち返り社員が自立し、最大限の能力を発揮できる環境の整備を進め、今よりもさらに「選ばれる企業」になるよう、今回のデータを例会や委員会活動に活用いただければ幸いです。

（文責 事務局 峰 圭太）





<景況感>

	2017年1~3月期と比べて(直前3ヵ月との比較)			2016年4~6月期と比べて(昨年同時期との比較)			2016年7~9月期と比べて(次期見直し)		
	増加	横ばい	減少	増加	横ばい	減少	増加	横ばい	減少
売上高	28.8%	48.2%	23.0%	33.1%	48.2%	18.7%	28.8%	57.6%	13.7%
経常利益	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化
	21.6%	59.0%	19.4%	26.6%	56.1%	17.3%	25.2%	61.2%	13.7%
業況判断	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化
	21.6%	61.9%	16.6%	23.7%	58.3%	18.0%	21.6%	65.5%	13.0%

<役員を含む正規社員数> 2,268人

0人	1~9人	10~19人	20~29人	30~39人
8	84	22	8	3
5.8%	60.4%	15.8%	5.8%	2.2%
40~49人	50~59人	60~69人	70~79人	80~89人
3	2	1	1	1
2.2%	1.4%	0.7%	0.7%	0.7%
90~99人	100~199人	200人~		
1	4	1		
0.7%	2.9%	0.7%		

<派遣、契約社員を含む臨時・パート・アルバイト数> 1,995人

0人	1~9人	10~19人	20~29人	30~39人
50	60	7	7	4
36.0%	43.2%	5.0%	5.0%	2.9%
40~49人	50~59人	60~69人	70~79人	80~89人
3	0	0	1	2
2.2%	0.0%	0.0%	0.7%	1.4%
90~99人	100~199人	200人~		
1	2	2		
0.7%	1.4%	1.4%		

<全社員数(正規+パート・アルバイト)> 4,223人

0人	1~9人	10~19人	20~29人	30~39人
4	66	30	13	4
2.9%	47.5%	21.6%	9.4%	2.9%
40~49人	50~59人	60~69人	70~79人	80~89人
3	3	3	1	2
2.2%	2.2%	2.2%	0.7%	1.4%
90~99人	100~199人	200~299人	300人~	
0	6	1	3	
0.0%	4.3%	0.7%	2.2%	

**長崎全研** 2019年は長崎にて中小企業問題全国研究集会が開催されます!!  
2019年2月(予定)開催まで

あと **17** ヶ月!!

# 会員活躍

長崎新聞 8月2日 長崎浦上支部 吉田 清規 会員 企業

メモリードとララコープ

## 葬儀業務で提携



握手を交わす吉田社長（右）と石原理事長—長崎市秋月町、ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート

冠婚葬祭業のメモリード（西彼長与町、吉田茂復社長）と生活協同組合ララコープ（同、石原茂理事長）は7月31日、葬儀に関する業務提携の調印を交わした。メモリード側は同組合員を対象に、葬儀費用を値引きするサービスを始め

があり、吉田社長は「互助の精神と地域のため」といふ思いは一緒。今後も地域に密着し、要望に耳を傾けたい。葬儀の占有率をまずは10%伸ばしたい」、石原理事長は「提携で、組合員の生活に寄与できる」と話した。（白石彩乃）

メモリードは県内に19の斎場を持ち、ララコープは約21万人の組合員を有する。サービスは県内のどの斎場でも受けられる。例えば30〜50人を収容できる会場での葬儀の場合、ララコープの組合員であれば通常価格から約40万円の値引きを受けられる。加えてメモリードの互助会に加入していれば、組合員価格からさらに約10万円の割引が受けられるという。値引きには組合員証の提示が必要となる。同日、長崎市内で調印式

長崎新聞 8月25日 大村支部 徳田 信義 会員 徳田 義彦 会員 企業

長崎新聞 8月3日 佐世保支部 野田 洋市 会員 企業

## 「濃くコク豆腐」が金賞

大村の九一庵食品協業組合



「濃くコク豆腐」が金賞に選ばれ、喜びを語る徳田理事長—大村市役所

九州一決める品評会

九州で一番うまい豆腐を決める品評会「2017九州・沖縄地区豆腐品評会」(8月6日、熊本市)の充填豆腐部門で、九一庵食品協業組合(大村市東大村2丁目)の「濃くコク豆腐」が金賞に輝いた。徳田信義理事長らが24日、大村市役所を訪れ、園田裕史市長に受賞を報告した。品評会は木綿豆腐、絹ごし豆腐、寄せざる、おぼろし豆腐、充填豆腐の4部門があり、29社が出品。それぞれ九州代表として10月1日に東京都で開かれる「第3回全国豆腐品評会」に出展される。九一庵の「濃くコク豆腐」は厳選した大豆と多良山系の良質な水、五島灘の海水から採取したミネラルたっぷりのにがりを使って、製造。昨年の銀賞に続き、2年連続で九州代表に選ばれた。今回は味に個性を出せようと大豆のブレンドや製法を改良。短時間で大豆の本来の甘さを引き出すことに成功したという。徳田理事長は「念願の九州一をようやく達成でき

た。全国大会でも入賞できるように改良を重ねたい」と喜びを語った。(左海力也)

# 障害者の雇用を創出

東彼波佐見町にある障害者の就労継続支援A型事業所「幸房かおりや」は、九州各地の葬儀場から使用済みのろうそくを回収し、作車して、再び葬儀に販売している。業務の一部は県内外の障害者施設に委託。関係者は、障害者の仕事を創出するモデルを築き、全国に広げた。考えた。



使用済みのろうそくを受け取る野田社長(右) —佐世保市、メモリード佐世保中央斎場

経営するのは、ろうそく製造の製造販売を掛ける野田武一商店の野田洋市長(右)。佐世保で1986年に創業し45年を以て佐世保市に移転。7年前佐世保町に移った。

野田社長は佐世保時代に近隣の障害者施設にろうそくの製造を手伝ってもらっていた。その様子から「時間ばかりかっても、工場取り組んでも、仕事を求めている障害者は多い」と判断。3年前に「かおりや」を設立した。

営業で葬儀場を回っていた際、通夜や告別式で使用して燃え残った大量のろうそくが破壊されているのを目撃。再利用を思い付いた。回収の手間がかかる上、品質の均一性を求める手回しで回収した。現在は約100カ所から集めている。県内最大手の

「かおりや」では軽度の障害者の計11人が働く。B型では、1万円が働く、5人の支援員から指導を受けながら、回収したろうそくの分別や、溶かして型に流す作業に従事。働き足りないようになると担当を要する工夫もしている。

回収業務の一部は各地の障害者施設に委託しており、障害者の新たな仕事を生み出している。約30人の知的障害者が利用する長崎市の生活介護事業所「あおぞら」では、4月からは市内8カ所の葬儀場

を担当。月に1回、利用者として職員と一緒に回る。サービス管理責任者、栗原進一さん(37)は「本来は日勤勤務の訓練が中心だが、回収の仕事を始め、工資を得ることで利用者の意欲が上がった」と喜ぶ。障害者の仕事で課題となるのが工資の低さだ。野田社長によると、最低賃金が適用される「A型」の就労継続支援事業所で月に5万6千円程度。一般事業所での就労が難しい障害者が働く「B型」では、1万円が働く、5人の支援員から指導を受けながら、回収したろうそくの分別や、溶かして型に流す作業に従事。働き足りないようになると担当を要する工夫もしている。

## 葬儀場のろうそく再利用

モデル構築、発信目指す

「かおりや」では、一般客向けにお盆の参り用の「長崎燻製」「長崎緑豆」を新たに作った。問い合わせは「かおりや」(電話0956-597-7800)。(熊本陽平)

# 事務局企業訪問

長崎出島支部 例会副班長としてご活躍中の佐々田剛史さんに密着取材させていただきました。



今回、長崎市内の保育園の保護者会主催のマジックショーに同行させていただきました。開始前、佐々田さんは普段通りであるのに対し、なぜか私の方が異常に緊張しました。公演開始後、園児たちからの「うわ〜っ、え〜っ!」という子どもらしい反応と、保護者や先生方の盛り上がりをもっとエネルギーに変え、佐々田さんは次から次へと本当にタネがわからないすぎるマジックの披露を続けられました。

その① 園児がどのカードを引いても、佐々田さんがおまじないをかけると、直前に自分がサインをしたカードに!

その② 保護者がその場でサインしたコインが一瞬にして氷の中に! (このマジックは、世界中で佐々田さんしかできないそうです)

その③ 園児の誕生日や先生の初恋の人の名前を当てる!

「マジシャン・ドゥー」として国内はもとより世界中を駆け回られている佐々田さんは現在41歳。少子化なんて何のその。高3(長男)、高1、小6、保育園年中クラス(3姉妹)という4名の子どもさんに囲まれて、毎日“お父さん”しています。

## <この世界へのきっかけ>

小学生のころに見たマジックショーに衝撃を受け、友達に楽しんでもらおうというサービス精神からマジックを始められました。

プロマジシャンと会社員との「二足のわらじ」で、休日に公演を行い続けていましたが、自分の夢をあきらめきれず、2013年、ついに勤務先を退職して独立!この時、何も反対せず、佐々田さんの夢を支え応援を続けるという決意をされた奥様には本当に感謝されているそうです。



## <マジックマナー教室>

佐々田さんは、マジックの公演で多忙な中でも、幅広い年代を対象に、礼儀作法や話し方、立ち振る舞いを身につけることを目的とした「マジックマナー教室」を開催されています。

「マジックは人を笑顔にします。マジックを楽しみながら礼儀作法を覚えることでコミュニケーション能力を自然に習得してもらえたら」と、教室開設の意義を語られました。

## <同友会との関わり>

佐々田さんは、自ら進んで同友会への入会を決意されました。プロマジシャンとして、技術の向上はもちろんですが、経営感覚を養わなければならないという強い思いからです。昨年度は、「絆交流委員長」として支部内の親睦を深めることに注力いただきました。また、経営フォーラムをはじめ様々なイベントでもその腕前を披露してくださっているのは皆さんご存知の通りです。

同友会での学びを活かして、業界全体の様々な意識改革に努めたいとも強調されました。

## <これから>

ロコミにより、公演の場を拡げつつ、また、既に2,000種類ものレパートリーを持ちながらも、まだまだと謙虚な佐々田さんが真剣に追求しているのは、なんと「世界平和」です!これは決して大げさなことではなく、先程も述べましたが、「人を笑顔にする」マジックを続けていけば、笑顔の波及によって間違いなく「世界平和」は実現するという熱い思いの結晶からです。「世界平和」実現に向け、日々研鑽を重ねられている佐々田さんの「笑顔」は本当に輝いています!!

## <企業概要>

オフィス ドゥー

・マジック披露 ・マジック教室

・マジック道具販売

〒850-0001 長崎市西山1丁目21-5

TEL: 080-1790-3005

(お問い合わせはどうぞお気軽に!とのこと。)

(文責 事務局 山田 幸司)

# 新入会員の皆さんです<8月入会・交代・復会> (敬称略)

## <入 会>

支 部 名	大村支部		
氏 名	なかがわ ゆうじ	中川 有二	
企 業 名	(株)ナカガワ 長崎工場		
役 職 名	取締役 工場長		
企 業 住 所	〒856-0806 大村市富の原2丁目278-2		
T E L	0957-55-2261	F A X 0957-55-4056	
業 種	食品製造業(たかす)		
企 業 P R	たかす世界シェアNo.1。たかす業界のバイオニア。たかがたかす、されどたかす。たかすは万能調味料!		
スポンサー	北村 貴寿		

支 部 名	大村支部		
氏 名	ふじもと ちから	藤本 力	
企 業 名	(株)藤本石工		
企 業 住 所	〒856-0835 大村市久原1丁目301-5		
T E L	0957-52-9014	F A X 0957-52-9014	
業 種	石工業		
スポンサー	宮崎 洋輔		

支 部 名	島原支部		
氏 名	たかはら けいぞう	高原 啓造	
企 業 名	高原ファーム		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒859-1504 南島原市深江町丁5199		
T E L	0957-72-2485	F A X 0957-72-2485	
業 種	畜産、農業		
企 業 P R	生産、管理技術の向上により、生産品の品質向上を目指し、消費者の方々の食の安全を守る為に日々精進しております。		
スポンサー	横田 耕詞		

支 部 名	北松浦支部		
氏 名	たけなか せいじ	竹中 成次	
企 業 名	日野まごころ整骨院		
役 職 名	院長		
企 業 住 所	〒858-0923 佐世保市日野町1913-1		
T E L	0956-59-6227	F A X 0956-59-6227	
業 種	整骨院		
企 業 P R	整骨院とリラクゼーションを併設しており、お客様一人一人に合った施術ができるようになっています。心身ともに癒せる空間をご用意しておりますので、是非一度ご来院下さい。		
スポンサー	立木 良宗		

## <交 代>

支 部 名	大村支部		
氏 名	むらやま せいじ	村山 靖二	
企 業 名	パークベルズ大村		
役 職 名	支配人		
企 業 住 所	〒856-0836 大村市幸町25-30		
T E L	0957-54-3131	F A X 0957-54-3184	
業 種	冠婚葬祭業		
スポンサー	吉田 清視		

## <復 会>

支 部 名	諫早支部		
氏 名	うえの しんいちろう	上野 辰一郎	
企 業 名	(株)九州ガスホールディングス		
役 職 名	マネジャー		
企 業 住 所	〒854-0022 諫早市幸町1-23		
T E L	0957-35-0800	F A X 0957-35-0808	
業 種	グループ会社経営管理業		
企 業 P R	エネルギー事業を基盤とし、地域に根ざした事業を展開し、お客様に「感動」を与えられる企業を目指しております。 ●九州ガスホールディングスグループ ・九州ガス(株)(都市ガス業、プロパンガス販売) ・小浜ガス(株)(都市ガス業、プロパンガス販売) ・(株)ティービーコーポレーション(宅地建物取引業) ・(株)九州メタルテックス(ステンレス製品製作・鋼板切断加工業) ・九州テクノ(株)(設備、管工事業) ・(株)吉次工業(総合建設業) ・(株)協電設(電気工事業) ・(株)ケンコー(鋼構造物工事業)		
スポンサー	前田 義幸		

## <復会(交代を伴う)>

支 部 名	大村支部		
氏 名	つるだ ゆきひさ	鶴田 幸尚	
企 業 名	長崎電設(株)		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒856-0806 大村市富の原1丁目1528-2		
T E L	0957-55-7390	F A X 0957-55-0460	
業 種	電気工事業、電気通信工事業		
スポンサー	宮崎 洋輔		



# 10月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページやe.doyuからも閲覧・参加申込可能です。

(掲載がない支部は経営フォーラムを例会に充当)

## ●大村支部

日 時 10月19日(木) 18:30～21:00  
会 場 長崎インターナショナルホテル  
テ ー マ 仮題『同友会の学びが金メダルになった!』  
報 告 者 九一庵食品協業組合 代表理事 理事長  
徳田 信義 会員  
(有)金井建設 代表取締役  
金井 政春 会員

皆さんに同友会の良さをもっと知っていただくために、大村支部の徳田相談役と金井相談役にご報告をいただきます。意外と知らない同友会の歴史、支部の設立から現在に至るまでのご苦労など、また労使見解とは?経営指針って必要な?といった会員の皆様の様々な疑問にも、両相談役にバッチリお答えしていただきます。同友会の学びが金メダルになった!入って良かった同友会!会員の皆さんはもちろんゲストの方もお願いあわせの上、是非ともお越しくださいませ!

## ●北松浦支部

日 時 10月18日(水) 18:30～20:30  
会 場 サンパーク吉井  
テ ー マ 「2025年問題を見据えて  
～陽から陰の時代への転換～」  
報 告 者 桃李(株) 代表取締役  
大橋 尚生 会員

コンサル業から脱サラで介護事業・福祉事業への転向開業され2年半。現在、看取り士の活動を行われ、2025年問題(超・超高齢社会を迎える)を見据えて弊社がやることとしてのことお話しさせていただきます。

## 9月理事会 議事録 抜粋

9月5日(火) 19:00～21:15

諫早市社会福祉会館 出席19名 欠席4名

### 開会挨拶 - 松尾代表理事

8月の終わりに九州大学で報告をいたしました。その際旭川の家具会社カンディハウスの会長も報告者でしたがお話しすると旭川で同友会の会員ということでした。地区長時代は海外に目を向けるということで毎年海外視察を行っていたそうです。このような場でも他県の会員と知り合えることは素晴らしいことですが全国46,000名の会員のうち、知り合いなのに同友会会員と知らない人もいます。皆さん聞いてみてください、同友会の会員かもしれません。そしてもっと仲間を増やしていきましょう。今日はよろしくお祈りします

### 仲間づくりについて

1)入会・交代・退会の承認について-14名の入会、1名の交代、4名の退会を承認

### 2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

西山仲間づくり委員長総括 - ※第1クールの表彰(支部賞、スポンサー賞)

支部賞...五島支部(対期首:退会者除く 124%)

スポンサー賞...1位/谷川 和夫 会員(五島) / 4名、

2位/庄司 会員(長崎出島) / 2名、

3位/横田 耕詞 会員(島原) / 2名

7月五島支部例会で、元仲間づくり委員長の山領さんが報告され、佐世保支部と五島支部が合同で増強デーを行いました。見ていただければ分かるのですが、佐世保支部と五島支部から多くの入会申込をいただいています。今後、経営フォーラムに向けゲストの増員もふまえて、仲間づくり委員会で増強デーを行うことを決定しました。支部長の皆様、ご協力お願いします。

辻支部長 - (第1クール支部賞の表彰を受けて)今回佐世保支部と合同で増強デーを行い、10件企業訪問しました。入会する、しないは別として同友会に興味を持っていただけたことは良かったです。また、入会申込書をいただいた方からは、積極的に入会を決意していただけたことが嬉しかったです。

松尾代表理事 - 仲間づくりは楽しいですね。できれば具体的に何件

訪問したなど、具体的な数字をぜひ資料に入れてください。それが一番大事です。また、いただいた名刺を見るとお誘いできそうな方がたくさんいました。皆さんも名刺を見てこの人はどうかと考えてみてください。年内755名達成に向け、よろしくお祈りします。

原田支部長 - 五島支部と共催で増強デーを行うことで、単独で行うよりも気合いが入り、良い刺激をいただきました。佐世保では仲間づくり委員長が頑張っていたと、段取りをしっかりとさせていただいたおかげで7名の入会がありました。次は退会防止に取り組みます。新会員の歓迎会を行い、橋口さんより同友会について20分ほどお話しいただく予定です。

### 協議・承認事項

#### 1)第24回経営フォーラムについて

(前回までの決定事項)

→日程:10/13(金)

・会場:長崎ロイヤルチェスターホテル

・記念講演講師:神奈川同友会(株)湯佐和 代表取締役 湯澤 剛氏

・分科会テーマと報告者

・第1(ダイバーシティ):長崎出島 伊藤 弘和 会員

・第2(経営指針):佐世保 橋口 久 会員

・第3(共有):長崎浦 古里 久則 会員

テーマ

『「覚悟!」～自分への覚悟!未来への覚悟!あきらめない覚悟!』

参加費5,000円

登録状況(9/4 正午現在)

第1分科会34、第2分科会42、第3分科会62

(今回確認事項)

・懇親会のアトラクションについて

純心大学ハンドベル、鯨太鼓(おくんちの銀屋町)、佐々田さんマジック

(岩実行委員長)

8月にキャラバンを行い、各支部回り多くの方から参加申込いただきました。しかし目標に達していません。動員の声掛けをお願いします。名刺協賛もよろしくお祈りします。また、ダイヤモンドクラブよりバッジの授与式を行いたいとの打診がありました。

(西山仲間づくり委員長)

ゲストの方が少ないので、できれば50～100名お祈りします。

2) 2017年度役員研修会について

(前回理事会までの決定事項)

9月9日(土) 第1部 研修会 13:30~17:20

第2部 懇親会 17:30~ 会場:長崎新聞文化ホールアストピア

(三役会時の意見として)

- ・参加者が少ない。再度支部長に連絡し個別に参加を促していただく。未回答者、欠席者のリストを提示する
- ・役員研修会の位置づけを再度確認しつつ、支部長や支部の重鎮がしっかりと参加を促さないといけない
- 各支部の動員状況を確認、動員のお願い

3)情報広報委員会からの提案について

→SNS活用のルールについて

→情報広報委員会からの提案を承認

山口情報広報委員長より各支部の例会運用マニュアルに記載するなど、アナウンスを忘れることがないように依頼

4)役員選考委員の指名、承認について

役員選考委員を指名、承認後、役員選考委員会に「代表理事の自薦・他薦」を全会員に発信していただく。10月理事会前に役員選考委員会を開催していただき、総会へ提案する代表理事を推薦いただき、理事会で承認。今後の流れとして11月理事会時、支部長、青年経営者会会長を除く役員を三役会から理事会へ提案し、遅くとも12月理事会時には総会へ提案する上記役員を理事会にて承認する  
→役員選考委員を承認。「代表理事の自薦・他薦」について、多くの回答いただけるよう役員会・例会での声掛けを支部長に依頼

報告・連絡事項

1)8月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

2)例会について(更なる例会の充実をめざして)-山口例会委員長

8月例会の反省(内容・出席率・返信率の確認)と8月例会内容について各支部にヒアリング

(山口例会委員長)

一部の会員だけで運営することがないように、なるべく仕事をふるようお願いします。役が上にいけばいくほど楽になる仕組みを作りましょう。また、全体の出席率が目標を下回っています。例年、下半期は出席率が下がる傾向にあるので、全支部が前月よりも高い出席率を目指して良い例会作りをお願いします

3)中同協 主要行事の紹介

理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう!(申し合わせ事項)(敬称略)

8月31日・9月1日(木・金)	経営労働問題全国交流会/京都/現在3名 ・浦上-吉澤③・大村-宇土②・事務局-峰④
9月14・15日(木・金)	第45回 青年経営者全国交流会/茨城/現在6名 ・浦上-橋本①、山口善③・出島-分部⑥・大村-濱村⑥ ・佐世保-原田④、渡邊②

10月5・6日(木・金)	組織強化・増強・拡大全国交流会/東京
10月19・20日(木・金)	第19回 障害者問題全国交流会/広島/現在6名 ・出島-菅原⑥、中村こ②・島原-永吉杏⑥ ・佐世保-橋口⑥、原田③・北松浦-宮田③
12月7・8日(木・金)	共同求人・社員教育活動全国交流会/島根
2月8・9日(木・金)	第48回 中小企業問題全国研究集会/兵庫/キャラバン開始

4)8月4日(金)産業労働部との意見交換会開催報告(宮田委員長)  
(本誌巻頭をご覧ください)

5)8月8日(火)長大経済学部とのワークショップ参加報告(峰事務局次長)  
同友会から4名の参加がありました。学生とのコミュニケーション、意見を聞くことは非常に大切なことと感じています。引き続き意見を交わす場に参加していきます。

6)長崎純心大学との個別インターンシップ状況報告-11月11日(土)報告会(授業として)開催  
(吉澤支部長、中村支部長、泉会員、岩崎会員)

(吉澤支部長)

カリキュラムを作り女性が行う仕事を見てもらいました。遠距離にもかかわらず、時間を厳守するなどとてもまじめな学生で、20歳前後でもできる人はできるんだと感じました。

(峰事務局次長)

純心大学との包括連携協定に基づいた個別のインターンシップ事業です。単位の取得が目的でなく、学生が自主的に参加しています。11月11日午前中に純心大学にてインターンシップの報告会として会員企業と学生から報告いただきます。ぜひご参加ください。

7)8月31・9月1日(木・金) 経営労働問題全国交流会参加報告  
(宇土委員長、吉澤支部長、峰事務局次長)

(吉澤支部長)

第3分散会に参加しました。企業変革支援プログラムのSTEP1をやっている会員が少ないので、これにふれてもらおうということがまず1つ。そしてこれを社長だけでなく社員にもやってもらうことが大切と話がありました。私事ですが、社員と一緒に取り組んでいません。今年は社員と一緒に取り組み、客観的に自社を見ます。企業変革支援プログラムSTEP1を信じてやってみます。

(※宇土委員長から報告あり。本誌P9.10に掲載の報告をご覧ください)

8)その他

(共有委員会より)

第4次ビジョンにも掲げてあります「経営者と社員と一緒に学ぶ共有セミナー」として10/28に海岸清掃、その後のセミナーを行います。ぜひ参加ください。

※次回日程-10月理事会

10月4日(水)19:00~ 場所:つくば倶楽部

会員動向

●企業住所等変更

宮田 京子 会員 (北松浦支部) 新会社名:一般社団法人 西日本福祉サービス協議会 新役職:理事長  
新住所:〒849-4256 佐賀県伊万里市山代町久原 1559-1 新TEL番号:0955-28-0885 新FAX番号:0955-28-0885

会 員 数 (9月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	135	115	100	90	75	150	55	35	755
期首	110	87	79	72	61	124	44	25	602
現在	111	90	80	73	62	126	42	27	611

退会者 (敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
初 穂 隆	planning Mao	大 村	2012年 9月
稲 田 友 範	(有)島原内装	島 原	2010年 4月
八 木 順 平	(株)天津包子館	佐 世 保	2013年12月
有 光 亮 太	ワールドステージ	北 松 浦	2015年 3月